

講座⑩ 漢方を深く知る

第1講義	漢方の基本理論
漢方薬と聞いて薬草（生薬）を数種類配合して、煎じて服用するみたいな漠然としたイメージしかないかもしれない。本講義では、西洋医学と東洋医学の違いや、漢方理論に用いられる五行論や気血水、漢方理論での病気（六病位）の概念および治療法を概説する。	

第2講義	漢方薬と生薬
漢方薬には何種類かの生薬が配合される。これら生薬（薬用植物）の分類、薬用部位、形状、味、臭い、薬効について概説する。また、実際に、有名な十数種類の生薬（経皮、人参、黄芩、大黄、甘草など）を観察や味見などして、生薬に触れ合ってもらおう。	

第3講義	実際の漢方薬-1
風邪のひきはじめに使われる桂枝湯類や麻黄剤（葛根湯、麻黄湯）について、正しい用法、配合生薬の役割について概説する。また、肝炎に使われる柴胡剤や気逆（イライラ、胸のつかえなど）に使われる瀉心湯類についても、正しい用法、配合生薬の役割について概説する。	

第4講義	実際の漢方薬-2
身体を温める附子剤や頻尿や四肢のしびれに使用される地黄剤（八味地黄丸、牛車腎気丸）、滋養強壮に使われる（人参剤）について、正しい用法、配合生薬の役割について概説する。また、婦人病治療やその他よく使われる漢方薬についても概説する。	

第5講義	新しい漢方薬の使われ方と副作用
漢方薬の使用上の注意および副作用について概説する。近年、西洋医学では解決できない疾病が増えており、これら疾病に対して伝統医学による治療が期待され始めてきている。ここでは、漢方の新しい使われ方や可能性について概説する。	

第6講義	漢方薬の鑑定（試飲体験）
いくつかのグループに分かれ、刻み生薬とサンプルの生薬を比較・観察して、漢方薬にどの生薬が含まれるか判別し、漢方薬のレシピ表からその漢方薬が何か同定する。また、煎じたいいくつかの漢方薬を実際に試飲してもらう。	